



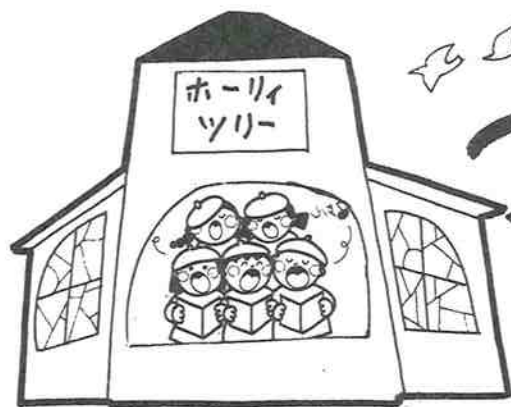
しんじゅ

No. 6
2009年8月10日

発行所：社会福祉法人しんじゅ
発行人：宮脇 テル子

本部事務所
東部生活・作業支援センター
ゆめの分室
たおじ分室
西部生活・作業支援センター
明芳分室
福祉の店“いたやど”
ステーションしんじゅ

821-1533 7657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
821-1586 7657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
578-3539 7652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10
987-2532 7651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689
782-9675 7655-0006 神戸市垂水区本多閣7-2-3
735-8835 7654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4
733-2477 7654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12
821-1533 7657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22



建設場所 神戸市須磨区須磨本町
1丁目2、3、32-2
竣工予定日 平成23年7月頃

【各事業の内容】

1階 生活介護 30名 日中の場

メリハリのある日常生活を目指し、楽しく快適に過ごしていただけるようなプログラムやサービスの提供を行う。

各利用者の個性を伸ばすと共に集団生活において社会性を身につけていただけるよう支援する。

看護師を配置し、医療ケアの必要な方も安心して利用できる環境整備を行うと共に全利用者の健康管理を行う。

日中サービスとして入浴サービスを実施し、プログラムは様々なものを導入する。

利用者の個性・希望を大切にできるサービス内容の構築につとめる。

2階 ケアホーム 10名 夜間の場

障害ある方々の自立と社会参加を願って、家庭と同じような環境を整備する。

主として入浴・排泄・食事などの介護、調理・洗濯・掃除など家事、生活などに関する相談および助言その他必要な日常生活上の支援を行う。

必要と思われる方については、訪問介護、重度訪問介護の利用をお勧めする。

3階 就労継続支援B型 10名

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、給料は少額であるが社会とつながっていることを実感できると共に生きがいを感じることができるよう就労の機会を提供する。

生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識および能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う。

ショートステイ 4名

居宅において介護を行う者の疾病その他緊急の理由により、また介護者のレスパイトのため、施設内にて障害者の入浴・排泄・食事の介護その他必要な支援を行う。

入浴サービス

在宅障害者の入浴介助をすることにより、障害者や介護者の支援を行う。

4階 多目的ホール 相談室、応接室、事務室など 地域に開放する。

人生がありがとう自分らしく組み立てよう



地域のみなさま

社会福祉法人「しんじゅ」の理念

1. 愛情を持って、ふれあい、共生の中で人間性豊かな人生を築こう
2. 安全で、安心して生活できる場を実現しよう
3. 自由で尊厳をもって、人生を全うしよう

お預け

かねてから準備用意をしてきた新プロジェクトはいよいよ軌道に乗り、九月中ごろ着工に向けて進んでいた折、新たに国庫補助金申請についての情報を得ました。新施設に関しては莫大な費用が掛かりますので、臨時理事会を開催し国庫補助金について検討した結果、申請に向けて前向きに検討していくことになりました。これを申請すると建設時期が一年延びることになります。皆様どうかご理解のうえご協力を宜しくお願い申し上げます。

支えあう先に つなぐ人生の輝き

社会福祉法人しんじゅ 理事長 宮脇 テル子

昨年十二月に自己資金六千九十万円に加え、あと五千万円用意するようにとのことにより、会員・賛助会員様をはじめ一般の方々にも寄付をお願いしたところ、早速に多くの皆様から温かいご支援をいただきました。心よりお礼申し上げます。退職されてから何十年も経っている先生方や神樹の会設立当時のご父兄の方々からも、温かい励ましのお言葉と共に寄付をいただき感謝の念に耐えません。皆様がどんなに今回の建設を待っていて下さっていたのかを考えると、今までにいろいろあった困難なことや、これからの超多額の借入金返済の心配など吹っ飛んでいくようであります。

注ぎ、平成十八年十月からすべて新体系で進めることができています。地域福祉・在宅福祉を軌道に乗せることができるには、社会資源が不可欠であります。障害者がある方々が、特に重度重複障害者が地域で生きていくための方法を模索し、知恵を結集した結果、今回の新プロジェクト建設へと繋がった次第であります。平成二十年十二月に開催された社会保障審議会障害者部会・報告によりまずと、障害者自立支援法施行後三年の見直しで対応すべき事項及び今後さらに検討していかなければならない事項について取りまとめられていますが、その中で『障害者の地域における自立した生活のための支援』がやっと上がってきました。大いに期待するところであります。昨今の政治不安のなか、たとえ政権がどのようになろうとも当法人の願い、希望は変わることなく前進し続けるのみであります。

Member の声⑨

施設の完成を願って

岡 よね子

神戸の高校生が国内感染では初めて新型コロナウイルスに感染し、その後神戸市内の学生を中心に拡大していきました。この影響で市内の幼稚園・学校等が休校となり、明芳デイサービスも休みになりました。娘は明芳デイサービスに毎日行くことを楽しみにしていました。私が休みになった事を言っても娘はなかなか理解できませんでした。私は毎日九時過ぎには仕事に行かねばならないので、仕事に行っている間は「家でカセットを聞いて帰りを待つように」と娘に言っておきました。

しかしそんな時に限って救急車のサイレンがよく聞こえ、ドキッとしてなかなか仕事に集中できませんでした。仕事が終わると家に飛んで帰りましたが、カセットを聞いている娘の姿を見てホッと胸を撫で下ろしました。二日目、デイに行くのを楽しみに起きて来る娘に「今日もまだ行けないよ」と再び言うのと「どうして？ 私は元気よ」と言うような顔をして訴えるのです。この一週間、私と娘は精神的にも肉体的にも大ピンチでしたが、皆さんのお陰でなんとか切り抜けることができ、感謝しています。母と子の生活ですが「頑張っ来て良かった」と将来笑顔で言えるように日々努力していきたいと思っています。

(明芳分室 岡幸代の母親)

お詫び

会報5号の「チャリティーバザー しんじゅ2008」にご協力いただいた方々に掲載漏れがありました。東舞子小学校様 小部東小学校様 東郷潤治様 前川正彦様 陳謝いたします。



ENJOY しょう!



第2回 運動会 6月19日

東部生活作業・支援センター

～チーム一丸となって～

今年も友生養護学校で用具をお借りし、参加者の方のご協力もあり無事に運動会を終えることができました。全員が本気で競技に参加し、素敵な汗を流すことができたのではないかと思います。

スピードを感じて笑顔の人や久しぶりの運動に息切れをするお母さん。他にもたくさん運動会ならではの熱気で一杯でした。

競技が進んでいくにつれ、協力しあいチーム一丸となることができました。その中で笑顔だけでなく、真剣な表情・悔しそうな表情も見受けることができました。

来年も皆で汗を流し真剣に戦える運動会ができればと思います。ご協力いただいた方々ありがとうございました。

酒井 望 (生活支援員)

行事となると前日あまり眠れず、いつも寝不足気味の我が息子も今日は体調ともにバッチリ！ほんの少し中に入る時に手こずりましたが、上々でした。気が付けば親も子も本気モード、一生懸命に汗した一日でした。なかなかの対戦でしたね。企画して下さったスタッフの皆さんとても大変だったと思います。感謝です！久々に運動をして、二三日後「あれっ、体が痛い！」と思ったのは私だけ？ではないですね、きっと！

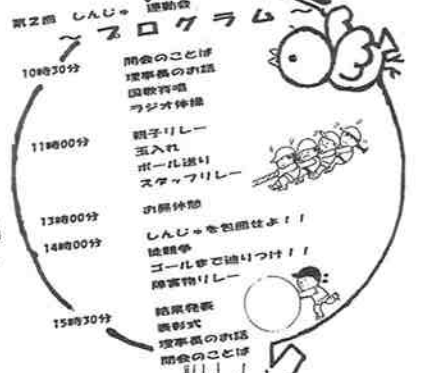
あるお母さんに「智君のすごい成長が見られた」と言ってもらい嬉しかったです。

井上 愛子 (利用者母親)



～親も子も皆本気～

行事となると前日あまり眠れず、いつも寝不足気味の我が息子も今日は体調ともにバッチリ！ほんの少し中に入る時に手こずりましたが、上々でした。気が付けば親も子も本気モード、一生懸命に汗した一日でした。なかなかの対戦でしたね。企画して下さったスタッフの皆さんとても大変だったと思います。感謝です！久々に運動をして、二三日後「あれっ、体が痛い！」と思ったのは私だけ？ではないですね、きっと！



西部生活作業・支援センター

～楽しい創作活動～

西部生活作業支援センター(垂水)では、毎週木曜日に創作活動を行っています。担当は元垂水養護学校教諭の東郷先生です。熱心な指導のもとで絵の具を使って写生したり、はさみで紙を切ったり、デジタルペーシングをしています。当センター利用者さんでは先生の教え子が多く、学校の授業のような雰囲気でも活動を行っています。

最近のプログラムでは、毎日通所に乗っているバスを写生しました。いつも見ているものですが、絵に描いてみるといろいろなバスになりました。色は夢の多様な色彩となりました。カラフルな車や目の覚めるバスなど楽しい作品になりました。利用者さんでも意外な作品に満足していました。

八幡 頼秀 (サービス管理責任者)

～楽しかった～

前回参加できなかった利用者の人達も参加。楽しかったので「次の運動会はいつあるの？」と第3回目の運動会を楽しみにしています。保護者の方々からも嬉しいお言葉をいただいています。

前日までポンポンの製作をして当日は張り切って参加。日頃は部屋の中でしか身体を動かさない利用者の方達も、運動会では広い体育館で大張り切り。競技が進むにつれ気持ちが高揚していました。

これを機に利用者の中で輪ができ、楽しい雰囲気でも毎日の生活ができれば嬉しいことです。親子で参加していただいた保護者の方々ありがとうございました。

たおじ分室

太田 すみ代

(サービス管理責任者)



☆楽しかったです。白組は負けたけど頑張りました。金メダルももらいました。(衣笠 誠)

☆運動会。本気モードで頑張りました。勝ててよかった。参加してよかった。楽しかった。(早川 真太郎)

☆玉入れ一番頑張りました。学生時代を思い出した。(正田 祥規)

ゆめの分室
塩野 美沙 (生活支援員)

社会見学での経験を、今後のさきり作業での作品・製品作りに活かしていきたいと思っています。

園内には満開に近いほど紫や白の鮮やかな菖蒲が咲いていました。ぐるっと園内を散策する人、お茶を飲みながら花を楽しむ人、写真を撮る人、思い思いに過ごしました。昼食は三田屋本店でランチをいただきました。竹林に囲まれた能舞台を横目にピアノ演奏を聴きながらおいしくいただきました。帰りのバスの中では「秋頃に一泊旅行に行きたいね」と話しながら、それぞれ家路につきました。

社会見学での経験を、今後のさきり作業での作品・製品作りに活かしていきたいと思っています。

園内には満開に近いほど紫や白の鮮やかな菖蒲が咲いていました。ぐるっと園内を散策する人、お茶を飲みながら花を楽しむ人、写真を撮る人、思い思いに過ごしました。昼食は三田屋本店でランチをいただきました。竹林に囲まれた能舞台を横目にピアノ演奏を聴きながらおいしくいただきました。帰りのバスの中では「秋頃に一泊旅行に行きたいね」と話しながら、それぞれ家路につきました。

社会見学での経験を、今後のさきり作業での作品・製品作りに活かしていきたいと思っています。

園内には満開に近いほど紫や白の鮮やかな菖蒲が咲いていました。ぐるっと園内を散策する人、お茶を飲みながら花を楽しむ人、写真を撮る人、思い思いに過ごしました。昼食は三田屋本店でランチをいただきました。竹林に囲まれた能舞台を横目にピアノ演奏を聴きながらおいしくいただきました。帰りのバスの中では「秋頃に一泊旅行に行きたいね」と話しながら、それぞれ家路につきました。

社会見学での経験を、今後のさきり作業での作品・製品作りに活かしていきたいと思っています。

園内には満開に近いほど紫や白の鮮やかな菖蒲が咲いていました。ぐるっと園内を散策する人、お茶を飲みながら花を楽しむ人、写真を撮る人、思い思いに過ごしました。昼食は三田屋本店でランチをいただきました。竹林に囲まれた能舞台を横目にピアノ演奏を聴きながらおいしくいただきました。帰りのバスの中では「秋頃に一泊旅行に行きたいね」と話しながら、それぞれ家路につきました。

社会見学での経験を、今後のさきり作業での作品・製品作りに活かしていきたいと思っています。

園内には満開に近いほど紫や白の鮮やかな菖蒲が咲いていました。ぐるっと園内を散策する人、お茶を飲みながら花を楽しむ人、写真を撮る人、思い思いに過ごしました。昼食は三田屋本店でランチをいただきました。竹林に囲まれた能舞台を横目にピアノ演奏を聴きながらおいしくいただきました。帰りのバスの中では「秋頃に一泊旅行に行きたいね」と話しながら、それぞれ家路につきました。

社会見学での経験を、今後のさきり作業での作品・製品作りに活かしていきたいと思っています。

園内には満開に近いほど紫や白の鮮やかな菖蒲が咲いていました。ぐるっと園内を散策する人、お茶を飲みながら花を楽しむ人、写真を撮る人、思い思いに過ごしました。昼食は三田屋本店でランチをいただきました。竹林に囲まれた能舞台を横目にピアノ演奏を聴きながらおいしくいただきました。帰りのバスの中では「秋頃に一泊旅行に行きたいね」と話しながら、それぞれ家路につきました。

～永沢寺花菖蒲園へ～



永沢寺花菖蒲園にて

お知らせと報告

◆いたやどミニバザー

月2回いたやど福祉ショップ前で午前10時30分から午後2時30分まで開いています。(雨天の場合は中止)

【開催日】

8月25日
9月10日・25日
11月10日・25日
12月15日

◆ヘルパー募集

☆障害者居宅介護
☆ガイドヘルパー
灘区・東灘区での勤務可能な方歓迎!!

【連絡先】

ステーションしんじゅ
TEL (078) 821-1533

◆会費について

21年度の会費納入をよろしくお願い致します。

♡ 感謝

新プロジェクト建設への寄付をお願いしましたところ早速に寄付を頂戴し感謝申し上げます。引き続きご支援を賜りたくよろしくお願い致します。

訃報

平成21年1月から7月までに、次の方が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。
石井 靖之様 (2月5日死去
平成元年度垂水養護学校卒業生)

～いらっしやい！ 新メンバー～

今年度4月から、垂水養護学校を卒業された利根川恵太さん・上山椋介さんが明芳分室を利用されることになり、利用者登録人数が21名となりました。

また、4月27日から服部浩美が新職員として勤務することになり、スタッフ3名を中心にボランティアの方々のご協力を得ながら毎日平均8名程の利用者の方々が通所されています。

☆社会人一年生、明芳の一員。どうぞ宜しくお願いします。(上山 椋介)
☆みんなと仲良く楽しく過ごせたらいいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いします。(利根川 恵太)
☆この度、皆様の仲間入りをしました。44歳2児の男子の母です。至らぬ所が多々ありますが、皆様の力をお借りしながら楽しく、時には厳しく過ごせたらと思っています。宜しくお願いいたします。

明芳分室

服部 浩美 (生活支援員)

あ・と・が・き
夏本番を迎え、元気で過ごしたいと思っています。いよいよ夢も現実化し、新プロジェクトに向け順調に進んでいます。
暑い夏、会員一丸となって乗り越えましょう。会報6号をお届けします。ご意見などお聞かせ下さい。
(白石 小野 日高 宮脇)